

平成 23 年 11 月 25 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社  
代表者 代表取締役社長 山田 英  
(コード番号 4563 東証マザーズ)  
問合せ先 社長室長 鈴木 文彦  
電話番号 03-5730-2480

### 関節拘縮の新規分子治療薬開発が JST A-STEP に採択

#### ー 「おとり型核酸医薬 (デコイ)」を用いた新規分子治療剤の開発ー

森ノ宮医療大学保健医療学部の青木教授らの研究グループは、関節拘縮モデル動物を用いた分子メカニズムの研究において、局所血流不全が低酸素による活性化転写因子 Hypoxia Inducible Factor (HIF-1) の惹起が重要であると推測しておりました。この度、この仮説を証明し、新規分子治療薬を開発するという技術移転テーマが JST A-STEP に採択されましたので、その内容を報告いたします。

骨折術後固定・脳血管障害後の廃用性関節拘縮発生は、患者の ADL・QOL の低下に大きく影響しており、老年医学領域では大きな課題となっております。現状では、拘縮進展阻止は理学療法のみ依存しており、悪化を抑制する薬剤は存在しません。

本技術移転テーマは、関節低酸素状態により転写因子 HIF-1 が活性化されるという分子メカニズムに注目し、転写因子制御療法である「おとり型核酸医薬 (デコイ)」を用いた新規分子治療剤の開発・特許取得を目指したものです。転写因子 HIF-1 に焦点を当てた一元的な病態解明は極めて独創的であり、それに基づく新規分子治療薬開発は新規性が高く、薬剤併用理学療法という新概念を生み出すことが期待されます。

このような新規分子治療薬開発は、脳血管障害が増加している高齢化社会において需要が大きく、社会的に期待されるものです。

当社は、アトピー性皮膚炎に対して NF- $\kappa$ B デコイ核酸医薬を用いた臨床治験を実施した経験を活かし、森ノ宮医療大学の青木教授の研究グループと連携し、HIF-1 デコイ核酸医薬の実用化に向けて協力して参ります。

なお、本件による本年度業績への影響はありません。

以上